

登録コード	HM131300	開講年度	2026				
授業題目	緩和医療学特論				担当教員	田中 聡 他	
英文授業名	Advanced Theory and Practice of Palliative Care				副担当	間宮 敬子・神田 慎太郎・牧島 秀樹	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	備考	2	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力 ⇄				緩和ケアの基本的概念を説明できる.		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄				緩和ケアの基本的概念に加えて、臨床的意義と苦痛の評価方法について説明できる.		
(2)詳細 /Detailed information	がんおよび非がん疾患における緩和医療の理念、疼痛・症状緩和の理論を理解し、多職種チーム医療における麻酔科医の役割を理解し、適切な意思決定支援を行える。						
(3)授業の概要 /Overview of course	本講義では、緩和ケアの基礎知識と臨床的意義を学び、患者を全人的に診る姿勢の重要性を学ぶ						
(4)授業計画 /Course plan	1 緩和ケアの総論（1コマ） 2 身体的苦痛に対する評価と対策（4コマ） 3 精神的苦痛に対する評価と対策（2コマ） 4 緩和ケアに必要なコミュニケーション（2コマ） 5 地域医療と緩和ケア（1コマ） 6 アウトリーチ（2コマ） 7 アドバンスケアプランニング（1コマ） 8 がん治療における緩和ケア（1コマ） 9 がん以外の疾患に対する緩和ケア（1コマ）						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	授業終了後簡単な記述式小テストを実施することで理解度を調べる。 得点率による評価基準は次の通りにする。 90%以上 秀、80－89% 優、70－79% 良、 60－69% 可、59%以下 不可						
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト ・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	履修上の注意 本講義は、最先端の治療法などの話題を学ぶものでなく、系統的に基礎知識を積み重ねていく形式の授業である。連続した学習が望ましい。 各講義の内容はお互いに関連性や系統的な内容となるため、準備および復習が必要とする。						
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	質問、相談への対応 随時質問は受ける。 授業中、授業直後あるいは、教室への来室（緩和ケアセンター）でも対応可能である。 来室の場合には、原則事前にアポをとること。						
(8)授業の形式 /Course format	授業の形式 PCを用いて講義形式で行う。 実際の臨床の現場、地域の病院の見学・実習を兼ねる場合もある。						